

伊予三島ロータリークラブ



寛政七年正月八日

しづけしや

春を三島の

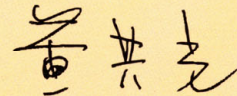
ほかけ舟

一茶

三島公園 小林一茶句碑

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary



2014~2015年度国際ロータリー会長

事務局 四国中央市金生町下分865 四国中央商工会議所内
 http://www.iyomishima-rc.jp TEL(0896) 58-3530
 E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp FAX(0896) 58-6294
 例会 金曜日 12:10~13:10
 ■会長/篠原聡一 ■幹事/井原 伸 ■広報委員長/松本浩一

No.39

平成27.3.27
 第2927回

会員増強室 会員勧誘委員会

委員長 井原 伸



本日の例会行事のお時間を頂くに当たり、会員勧誘につきまして私なりに考えたことや友人から仕入れた情報などをこれからお話させていただきたいと思っております。

ロータリークラブは、四国4県に74クラブあり、会員数は3000人ほどいます。ちなみに、ライオンズクラブは、149クラブ6400人の会員ですから、ロータリーのちょうど2倍というところなんです。クラブ数も会員数も・・・。

例会は週1回のロータリーに対して、ライオンズは2週間で1度です。週1回お会いしていると早く親しくなれますが、しんどいという人もいます。だとすれば、中身の充実した例会行事や個人的な喜びや楽しみは必要だと思います。

ロータリークラブとは個人の倫理観を高める事を目的として運動をするクラブ。例会などに出席して得た自己改善のエネルギーを自己の力量に応じ、あらゆる日常活動の場を通じて人々に対して

奉仕の実践をする。

ロータリーとライオンズの違いとは・・・。

ロータリーは個人奉仕を中心とする社交団体であり、個人の力量、徳の力が問われるクラブでの団体奉仕もありますが、ポリオ撲滅のため国際ロータリーはビルゲイツ財団と協力して216億円の寄付をしていることなどはビッグな話題ですが、世界の事なので一般には印象は少ないかもしれません。

対して、ライオンズは団体としての社会奉仕団体。この違いにより、ライオンズクラブの団体奉仕(公園などのベンチの寄付など)は理解されやすいが、個人的・精神的奉仕を行うロータリー奉仕は一般社会には理解されにくい。ただし、この原則は最近は少し変化が見られるそうです。

松山市内各ロータリークラブの現状について、お話しします。

会員数は、松山クラブ73名・松山東29名・松山西29名・松山南55名・松山北38名・道後クラブ28名。これは、設立順です。

松山クラブは格式やステータスがあり、出席も厳しくよく会員がメーカーキャップしています。メンバーは転勤族の支店長(一流会社)が多く、支店長同士のネットワークが取りやすいようです。他のクラブの支店長が一流ではないということではありません。

松山東クラブと松山西クラブのほうが設立が早いのに、松山南クラブと松山北クラブの方が会員数が多いのはなぜか?ロータリーだけではなく野球やゴルフや親睦で楽しめる会が多い。ロータリーと野球同好会とゴルフ同好会にもリーダーシップを取れ、メンバーに配慮できる重鎮がいることも大きいと思います。ちなみに川之江クラブは、10年前は愛媛で野球No.1でしたが、現在は野球は活性化していません。でも、54名という会員数は素晴らしいと思います。

一般的にロータリーは会社(経済的余裕や時間)・家庭・プライベートが確立された方が入会しますが、現状会員拡大していく上には、それらの条件を満たす候補者はたくさんはいません。条件を満たさない人はロータリーには必要ないという意見も理解できますが、起業者はいろいろな面で余裕がない場合もあり、子育て世代は家庭サービスなどがあり、そのあたりは理解しながら会員勧誘は必要なのではないでしょうか?

その観点から考えるとロータリー運動内でのビジネス面をタブー視する方もいらっしゃいますが、格式や定義も大事にしながら間口を広げ、クラブ内で会員の實力を高め信用を獲得して、クラブ会員が事業に成功することにより世間の人たちから信頼と敬愛を得るような實力の涵養と人格形成も必要である。

*涵養とは、水が自然に土に浸透するように、無理をしないでゆっくり養い育てること。

会員増強とは会員の人数拡大だけではなく、会員の個人の資質を生かしながら会員個人の力を増強してあげること。ロータリアンとは、企業や経済的余裕のある人間が入るという事も大事ですが、資質を確かめた上で若手の成長の場とする。古い格式も大事にしながら変えてはいけないことと変えたほうが良いことを、時代の流れに合わせて考えていく。いかに新会員を増やしながら退会防止の両立が大事だと思います。

親睦会と同好会の活性化(松山南クラブの例)

松山南クラブは、毎月夜間例会を開催しております。通常の昼例会より参加人数は減りますが、親交は深まります。夜間例会後は二次会も開催してカラオケなどで楽しんでいます。昼の通常例会後も例会上の隣の喫茶店で、会員の不満や現状など情報収集をしており、女性の話、ゴルフや野球の話、仕事の悩みや雑談もします。割り勘の場合もありますが、先輩会員が順番でコーヒー代は出します。少人数なので三千円程度。松山南クラブは、会員55名。その中で、野球同好会は約30名です。3月~11月まで毎週土曜日朝7時から9時まで朝連。これは、土曜日出勤する人も参加できるように配慮されたものです。

ゴルフ同好会は、2~3組ですが月1回開催しています。新会員の勧誘は、入会前に野球やゴルフ会から参加するとクラブに馴染みやすい。クラブ会員アンケートにより、以前例会時の配席は自由でしたが仲良しグループになって新会員がさびしい思いをすることがあるため、毎週事務局員が

ランダムに配席しているいろいろなメンバーと交流できるように変更しました。会長の隣の席もあります。年1回100%例会を開催しています。CLP（クラブリーダーシッププラン）当クラブも機能がイマイチですが、100%例会の出欠確認は各委員会ごとで実施。JCでいう広報委員会や会員交流委員会をひとくくりとして委員長が委員会メンバーに声掛けして出席を促しています。

現状のロータリークラブでは幹事が全体を管理しているクラブが多いんじゃないでしょうか？いかにJCでいうスタッフを巻き込みながら推進するかだと思います。

年齢＋在籍年数による出席免除という制度があります。私は、あまりよくない制度だと思います。若手経営者が重鎮経営者から学ぶ機会がないからです。でも、年には勝てないので仕方ないと思っています。

年1回、ロータリー情報委員会が例会とは別に1時間程度重鎮経営者の卓話を開催しています。入会3年未満の会員が対象で、任意の出席ですがメーカー対象にしています。

新会員の勧誘についてお話しします。やはりJC卒業生やYEG（商工会議所青年部）の入会が手っ取り早いと思います。会員の中で若手JC経験者などに38歳・39歳くらいの該当者をピックアップさせて入会前に会食や同好会に誘ったり事前に勧誘を試みるのです。長期決戦。

高校野球経験者に甲子園で試合をしてみないかと勧誘します。

ロータリー全国野球大会で甲子園球場を使用するからです。邪道ではありますが、そういうきっかけで入会した会員が、前松山YEG会長・現松山YEG会長・次次期松山YEG会長です。数は力なり・・・という言葉もありますが、決して質より量で誰でも入会させるのではなく、候補者を事前に確認してからの入会です。育てることも大事です。これは、野球を通じてロータリーと同好会とビジネス等の絆作りができて、退会防止にも繋がります。一つのボールを年齢関係なしで追いかけて、大会での優勝などにより結束力ができ、仲良くなれます。

松山南クラブの改革案についてお話しします。現在、入会金は5万円、年会費は20万円です。40歳未満の会員は50%の減額をしております。これは、JCなどの会費との両立をクリアするためです。また、同じ会社から2名の入会者もOKにしています。親子や後継者が対象です。

これは高齢会員との引継ぎをスムーズにするためです。また、転勤によるロータリー経験者の場合は入会金を免除しています。入会月により年会費の月割りも実施しております。CLPによる委員会ごとの入会候補者のピックアップをしております。重鎮の人で勧誘したくない人もいるでしょうから、確認した上で会員拡大委員会がロータリークラブの説明をして入会勧誘を行います。

当クラブにロータリーをすごく愛している中堅会員がいますが、入会時より1度もメンバーを入会させたことがありません。なんでですか？と聞いてみると、ちゃんとした経営者なら自分で紹介者を探し入会するべきという厳しい考え方らしいです。会長や誰かがやるやろ・・・ではなく、会員減少に歯止めをかけながら将来のクラブの存在を危惧して、重鎮と若手が真剣に取り組むことが大切です。皆さんはそれぞれ、「私の会社」があります。ロータリークラブはどうでしょう？

「私のロータリー」ですか？それとも、「私とロータリー」ですか？「私のロータリー」と思える会員を増やしましょう。

最後に会員増強の手法についてまとめてみました。

1. 具体的な数値目標を立てる。
2. 会員増強委員会（年初組織とは別の特別委員会）の設置。
3. 大手企業や取引先などへの勧誘。
4. ひたすらメンバーへ呼びかける。
5. 脈がありそうなら、会長や会の重鎮が自ら赴いて説得。
6. 新会員の教育と現会員の交流を図る場を幾度も設ける。

今後とも、会員拡大・増強につきまして、なお一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

映画「陽光桜—YOKO THE CHERRY BLOSSOM」の話

この映画のプロデューサー、金子明氏の講演を聞いてまいりました。

金子氏は、1958年5月松山市生まれ、愛光高校、愛媛大学を卒業されています。

また、この映画は、平和のシンボルとしてのサクラ「陽光」を生み出した愛媛県東温市出身の高村正明氏（1909年～2001年）がモデルの伝記映画であります。戦争のむなしさと命の尊さをサクラの木に託そうとした高岡氏の半生が描かれるこの映画は、2015年3月より県内ロケが始まっております。

出演者は、笹野高史 的場浩司 宮本真希（八幡浜市出身） 長谷直美 野村宏伸 川上麻衣子 風祭ゆき、監督・脚本は、高橋玄です。

愛媛県、県教育委員会、松山市、東温市他県内各経済団体が後援するこの映画は本年11月公開予定であり、今後県内で注目されることは間違いないと思います。

また、この映画の応援をする「陽光サポーターズ」も募集されております。

例会行事のお時間を少し頂いて、話題提供とさせていただきます。



平和願う演技熱く

映画「陽光桜」 県内ロケ開始

平和への願いを込めた映画「陽光桜—YOKO THE CHERRY BLOSSOM」の県内ロケが25日、松山市で始まり、高岡（1909～2001年）をモデルにしたさん役の主演・笹野高史さんと息子役の的場浩司さんが撮影に臨んだ。初日は地元住民が陽光桜を植樹した垣生山でロケがあり、家業を継ぐ父に息子がかつての荒らげるといふシーンを撮影。桜に込めた思いを明かさずにつかんとする重要なシーンで、笹野さんとの場さんが熱のこもった演技を披露した。

「平和を願った高岡さんの思いがにしみ出るような映画にしたい。平和について繰り返し考えるきっかけになれば」と語り、的場さんは「高岡さんのエピソードを聞き、ますますこの作品に参加できることをうれしく思った。子どもからお年寄りまでみんなに見てもらいたい」と話した。

県内ロケは12日間で、東温市山間部、今治市伯方島などで撮影する。映画は今年8月に松山、東温両市で先行上映し、11月に全国公開する予定。

（白川亜子）

平成27年3月26日
「愛媛新聞」掲載

第2927回 例会 記 録 平成27年3月27日

開会 篠原聡一 会長

幹事報告

出席報告

出席会員（36名中） 31名
出席率 86.11%
第2925回修正出席率 94.44%

例会行事

会員増強室・会員勧誘委員会
井原 伸 委員長

会長の時間

○定例理事会報告

- ・4月度プログラムについて 承認
- 4/3 地区研修・協議会報告
- 4/10 クラブ協議会(炉辺会合)・クラブアセンブリー
- 4/17 広報委員会
- 4/24 地区大会報告、定例理事会

4月10日プログラム予定

クラブ協議会(炉辺会合)
クラブアセンブリー